

などの底に入れておき、それぞれ読み取り機の上に滑らせればほとんどの場合問題なく改札を通過できる。
出し入れの回数が少なくてすむということはそれだけ紛失の危険性が少ないということでもある。せっかくなのでカードは財布など頻繁に出し入れするものとは一緒にせず、バッグのポケットなどに別にしてしっかりしておこう。

なお、PASMOであれSuicaであれ、複数のICカード乗車券や銀行カード、入構証などの一部ICカードと重ねた状態や並べた状態でタッチすると、情報が正しく読み取られずエラーになってしまう場合がある。もし複数のICカードを使い分けているなら、カードを入れておく場所を別にするなどの対策をしておこう。

②乗り越しも、改札機の自動精算でスムーズ!

各駅の自動券売機や精算機などでPASMOやSuicaのカードにあらかじめ料金をチャージしておけば、(サービス有効範囲内であれば)どこからどこまで乗っても乗り換えても、運賃は改札を抜ける際にカードをタッチするだけで全部まとめて自動的に精算できる。

ただし、カードには最低料金分(路線によって130~210円程度)がチャージされていればとりあえず入札(改札を通過して電車に乗ること)はできてしまうので、いざ降りようとした時に改札で料金不足でストップを喰らってしまう場合もありうる。その場合には一旦自動精算機にカードを入れて不足分をチャージした上で、再度改札を抜けなくてはならないので、くれぐれも事前に十分な金額をチャージしておくこと。

なお、PASMOならびにSuicaマークのある自動券売機やカード販売機で残高を随時確認できるので、自分の持っているカードの残高はこまめにチェックしておこう。



③カードをくり返し使うから、環境にもやさしい

PASMOもSuicaも1枚のカードに何度でもチャージできるので、パスネットカードなどの従来のプリペイド磁気カードのように使い捨てせず済み、環境にやさしい。

もっとも凶柄は用意された物しかなく、ここは早く多彩なキャラクターカードの登場を待ちたいところだ。

④紛失の際のフォローもあるのだ

記名登録したカードに限られるが、万一カードを紛失しても再発行を受けることができる。

最寄りの駅やバス営業所に申し出れば、紛失したカードの使用停止登録の上、再発行整理票が発行される。この手続きには本人確認ができる公的証明書等(免許証など)が必要となるので、コミケット参加の際には何らかの身分証明書を用意しておこう。ただし、この手続き以前に第三者に拾われ、使われてしまったチャージ分は戻ってこないの、紛失したことに気付いたら何をさて置いて一刻も早く停止申請を行おう。

再発行・返却などはそれぞれのカード発行业者以外では行えないが、紛失・障害時の申告・停止手続きはPASMO、Suicaを問わず全事業者共通で受け付けている。

使用停止手続きの翌日以降、窓口で再発行整理票と引換えにカードが再発行されるが、再発行の際に手数料500円と新しいカードのデポジット料500円の計1,000円が必要で、受け取りの際も本人確認ができる公的証明書(免許証など)を提示しなければならないなど、少々手間もお金もかかる。なお、紛失したカードが発見された場合に限り、最寄りの駅・バス営業所に申し出ると旧カード分のデポジット料が返却されることになっている。

もし誤ってカードを傷つけたり折ってしまった場合にも、同様の手順で再発行を受けられるのだ(詳しくはコラムを参照)。

しかし、何にしても紛失当日には再発行されないの、交通費の全てをチャージしたカードを無くして帰れない……という事態は絶対に避けなくてはならない。

Check!

『デポジット料』とは、カードを新規発行する際に、事業者がカードそのものの発行料として利用者から預かるお金のこと。チャージ金額とは別個のもので、運賃の支払いや電子マネーとしての利用はできない。カードが不要になり、返却すると解約時にこのデポジット金は返却されるが、カードを紛失してしまった場合などは戻って来ない上に、再発行時にはまた新たなカードについてのデポジット料が必要になるので要注意だ。